

## 令和 4 年度取組施策

## 1. ごみの減量・分別の徹底

施 策	古紙等集団回収助成金事業(令和 4 年 7 月開始)
ねらい	ごみの減量及び資源の有効利用並びにごみのリサイクル意識の向上を目的に、古紙等の回収を実施する団体等に助成金を交付する事業です。
内 容	助成金額 回収量(kg)×5円 対象団体 自治会 子ども会 PTA 老人クラブ 共同住宅の管理組合 社会福祉法人 地域住民で構成の営利を目的としない団体 対象品目 紙類(新聞紙、雑誌、ダンボール、紙パック、雑がみ) 布類(古繊維)
成 果	10月末現在で、活動団体は16団体の登録があります。 (自治会:12 管理組合:4) 回収量については、令和 5 年 2 月に助成金申請(7月~12月分)を受付時に集約します。
課 題	令和 4 年度目標登録団体数を 40 団体と設定しています。現在 16 団体ですので、引き続き、広報等で周知を図ってまいります。

施 策	古紙等回収拠点(令和 4 年 1 1 月開始)
ねらい	ごみの減量及び資源の有効利用並びにごみのリサイクル意識の向上を目的に、古紙等の回収する拠点を設置します。
内 容	場 所 上植野浄水場東側(上植野町久我田 1 7 - 1) ※入口は北側道路 回収資源 新聞紙、チラシ、雑誌、雑がみ、段ボール、古着 出し方 資源項目毎のコンテナへ、それぞれ入れていただきます。 利用時間 午前 8 時 3 0 分から午後 6 時 3 0 分まで ※12月30日から1月3日までの間と荒天時は休み 運 営 日本紙業有限会社(京都市伏見区羽束師菱川町 7 3 0 - 1)
成 果	古紙回収については、市役所資源物回収ステーションと古紙等集団回収助成金事業にてリサイクルを推進しているところです。 市民の皆さまにご利用いただきやすいよう、新たに回収拠点を整備しました。 
課 題	拠点がオープンしたばかりですので、多くの方にご利用いただけるよう、認知度を高める必要があります。

施策	ごみ減量のしおり改訂（令和5年2月予定）
ねらい	平成29年に改訂した「ごみ減量のしおり」について、指定袋導入や拠点回収、ごみ分別アプリ、粗大ごみネット申込、古紙回収など最新の情報に更新し、冊子の配布をもって適正排出の意識醸成に繋がります。
内容	指定袋導入や拠点回収、ごみ分別アプリ、粗大ごみネット申込、古紙回収などの情報を掲載すると共に、審議会委員の意見でもある、ごみの行方（どのようにリサイクルされるのか）について記載し、より市民の皆さまに身近に感じていただき、ごみの減量、適正排出に取り組んでいただけるようにします。 配布方法は、全戸配布とします。
成果	ごみの減量、適正排出に繋がるものと想定しています。
課題	読みやすく、わかりやすい内容となるよう注力します。

## 2. 分別の徹底

施策	ごみ分別アプリの配信（令和5年1月予定）
ねらい	ごみ分別アプリ（ごみスケ）を配信することで、素早くごみの分別の仕方が分かることを目的とします。また、地域を設定することで資源物の収集日や燃やすごみの出し忘れ防止通知を行うことで、正しくごみを排出いただくように促す。
内容	スマートフォン向けごみ分別アプリ（ごみスケ）を配信します。 ※スマホをお使いにならない方は市ホームページのごみ分別検索辞典を閲覧いただきます。
成果	ゴミの出し方・分け方カレンダー以外にも同様の案内が可能なツールを提供することで、より市民の皆さまに啓発ができる。
課題	まずは認知度を向上し、利用者を増やすため広報に努めます。



## 3. 粗大ごみ申込方法の拡大

施策	粗大ごみ受付システム導入（令和5年1月予定）
ねらい	粗大ごみの収集受付について、24時間365日インターネット上で申し込めるシステムを導入することで、市民の皆様の利便性の向上を図るとともに、分別意識を高めていただくことで、ごみの適正排出を促進する。
内容	従来は環境政策課へ電話か窓口で粗大ごみの収集申込をする必要があり、受付時間が開庁時間内でした。このインターネット申込により、24時間365日申し込むことが可能になります。（※ごみ分別アプリとリンクします。）
成果	市民の皆さまの利便性向上に寄与し、適正排出に繋がると想定しています。
課題	まずは認知度を向上し、利用者を増やすため広報に努めます。